



【史跡名勝南湖の鏡の山の植物相と 下草刈りがもたらすアカマツ林植生の変化】

(福島大学共生システム理工学類4年 伊藤 将太)

植生調査の目的

- 下草刈りが及ぼす、鏡の山の植生や植物多様性への効果を明らかにする。
 - 下草刈り継続年数が異なる場所での植生調査。
 - 各階層の高さ、および調査面積に対する植被の程度を記録。
 - 出現した植物の種名、被度を記録。



植物相調査の目的

- 下草刈りを行なう際に考慮すべき種の有無を探る。
 - 鏡の山の植物相調査。
 - 自生している維管束植物を対象に採集し、さく葉標本を作成。
 - 鏡の山の植物リストを作成。

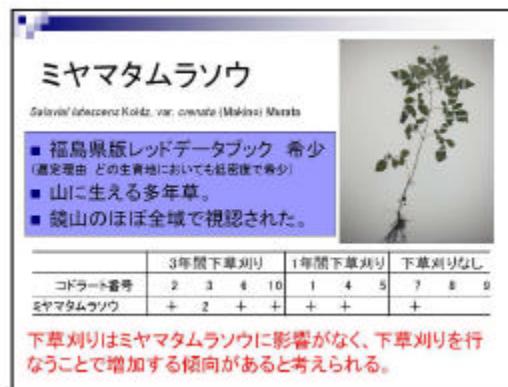
まとめ

〔下草刈りによるアカマツ林植生の変化〕

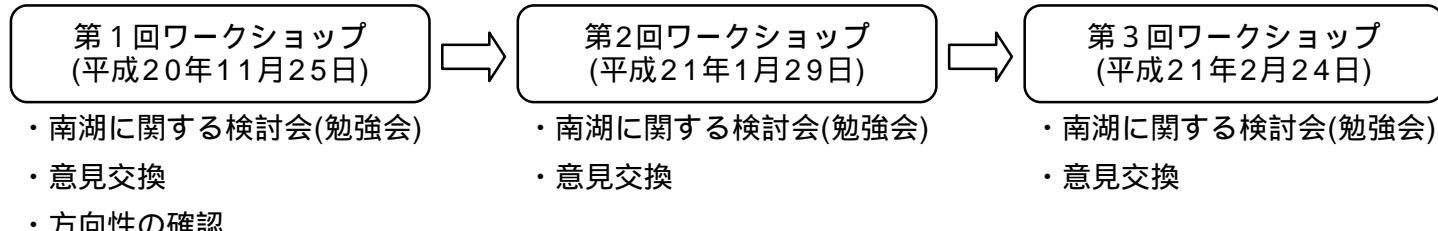
- 下草刈りを1度でも行なうことで低木層の被度が低下。
- 3年間下草刈りを継続することで、ヤマユリの結実個体が確認でき、草本層の種類が増加。

〔鏡の山の植物相〕

- 里山に見られる植物が多い。
- 福島県版レッドデータブックで希少とされているミヤマタムラソウは、下草刈りによる悪影響は生じていないと考えられる。



今年度の活動について



お問い合わせ先

福島県県南建設事務所 企画調査課

住所：〒961-0971

白河市昭和町269番地

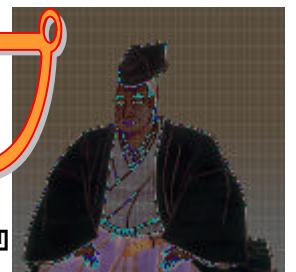
TEL：0248-23-1617

FAX：0248-23-1642



南湖公園ワークショップ

『将来像・・・樂翁公のこころを未来へ！』



第3回南湖公園ワークショップを平成21年2月24日(火)に開催しました。

今年度のワークショップは、昨年に引き続き県南地域の貴重な財産である南湖公園の保全・利活用を図るために開催してきたこれまでのワークショップを受け、南湖への理解をより深めるための検討会(勉強会)を中心開催してました。

今回は全員で33名の方々の参加がありました。

はじめに

南湖を良好な状態で後世に継承していくためには、これまでのワークショップで提案してきたことをいかに実行していくかが課題となります。そのためには、まず市民と行政が南湖への理解を深め、共通の認識を持って、南湖の保全・利活用に取り組むことが重要です。

第3回南湖公園ワークショップ・プログラム

とき 平成21年2月24日(火) 13:30~16:00

ところ 翠楽苑(南湖公園内)

1. 開会

あいさつ(福島県県南建設事務所 企画調査課長 円谷 泰)

2. ワークショップ

(1) 講演「南湖の巨樹・銘木とその保全」

(福島大学共生システム理工学類 准教授 黒澤 高秀)

(2) 発表「史跡名勝南湖の鏡の山の植物相と

下草刈りがもたらすアカマツ林植生の変化」

(福島大学共生システム理工学類 伊藤 将太)

(3) 「南湖の樹木・森林植生の管理と保全策」

(福島大学共生システム理工学類 准教授 黒澤 高秀)

3. 閉会



あいさつ 円谷企画調査課長



第3回南湖公園ワークショップの様子